

事業計画書目次

[資源循環局]

10款2項1目

(単位：千円)

計画書頁	事業名	令和6年度		令和5年度		増△減(6-5)		新規・拡充
		事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	事業費	市債+一財	
27	粗大ごみ処理事業	1,973,521	1,844,738	1,899,072	1,714,048	74,449	130,690	
28	適正処理総務管理費	149,904	141,268	107,807	98,846	42,097	42,422	
29	家庭ごみ収集運搬業務委託事業	4,049,824	4,049,824	3,736,825	3,736,825	312,999	312,999	○
30	中継輸送業務委託事業	678,706	677,066	664,850	663,090	13,856	13,976	
31	輸送事務所補修費	54,366	54,366	60,406	60,406	△ 6,040	△ 6,040	
32	クリーンタウン横浜事業	164,386	156,414	163,585	155,994	801	420	
33	不法投棄等対策事業	7,718	7,718	7,781	6,212	△ 63	1,506	
34	共同溝管理事業	9,445	8,851	13,963	13,445	△ 4,518	△ 4,594	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
	計	7,087,870	6,940,245	6,654,289	6,448,866	433,581	491,379	

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	1	
歳出予算科目	一般会計	10 款	2 項	1 目	政策番号	19 施策番号	99
事業名称	粗大ごみ処理事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	1,973,521	0	0	128,783	0	1,844,738
令和5年度	1,899,072	7,020	0	178,004	0	1,714,048
増▲減	74,449	▲7,020	0	▲49,221	0	130,690

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	1,785,985	1,852,164	1,993,456	1,993,456	1,993,456
	市債＋一般財源	1,714,425	1,647,781	1,878,488	1,878,488	1,878,488
決算	事業費	1,796,425	1,834,587			
	市債＋一般財源	1,610,499	1,698,925			

事業概要 (アクティビティ)	家庭から排出される粗大ごみを収集し、適正に処理します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
受付センターの電話 応答率	単位	目標	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	%	実績	80.1	82.9				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
粗大ごみ処理事業の 安定した運営	単位	目標	達成	達成	達成	達成	達成	達成
	—	実績	達成	達成				
事業目的	市内全域の家庭から排出される粗大ごみの受付業務や収集運搬業務等は、委託により適切な処理を実施します。 なお、家庭から排出される一般廃棄物の収集運搬は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められた地方公共団体の責務であるため、引き続き実施する必要があります。							
背景・課題	本事業は、収集効率の向上を目的に、昭和44年度より粗大ごみの収集事業を開始しました。粗大ごみの排出抑制によるごみの減量及び受益者負担の観点から、平成8年度より有料化しています。							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例・規則 ・横浜市一般廃棄物処理実施計画 							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大ごみ受付件数 ・粗大ごみ収集個数 							
事業スケジュール	昭和44年度 粗大ごみ収集事業開始 平成8年度 粗大ごみの有料化、自己搬入ヤード開設 平成10年度 全区で粗大ごみ収集業務の委託開始 平成12年度 粗大ごみ受付センターの委託開始 平成15年度 インターネットによる粗大ごみの申込受付開始 令和元年度 チャットボットによる粗大ごみの申込受付開始 令和2年度 LINEを活用した粗大ごみの申込受付開始 令和5年度 粗大ごみ処理手数料の電子決済導入							
事業開始年度	昭和44年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	粗大ごみ受付収集事業	1,615,529	1,559,681	55,848
2	粗大ごみ処理手数料収納事業	124,860	127,371	▲2,511	電子決済の導入による減
3	ヤード管理運営事業	233,132	212,020	21,112	労務単価の改定等による増

	細事業合計	1,973,521	1,899,072	74,449	
--	-------	-----------	-----------	--------	--

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	課長		
	澤田 亮仁	三枝木 武		金子 星花

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	2					
歳出予算科目	一般会計	10	款	2	項	1	目	政策番号	19	施策番号	99
事業名称	適正処理総務管理費										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	149,904	0	0	8,636	0	141,268
令和5年度	107,807	0	0	8,961	0	98,846
増▲減	42,097	0	0	▲325	0	42,422

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	106,543	105,493	160,806	160,806	160,806
	市債+一般財源	96,806	96,150	152,242	152,242	152,242
決算	事業費	130,738	141,883			
	市債+一般財源	121,925	133,913			

事業概要 (アクティビティ) 市民の生活から排出されるごみの収集、運搬及び処理を適切かつ効率的に実施するための事務を行い、それにかかる経費を執行します。

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
動物死体処理個数	単位	目標	11,039	10,759	10,587	10,355	10,137	9,923	9,714
	個	実績	10,511	9,955	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
動物死体の適切な処理	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	一	実績	達成	達成	/	/	/	/	/

事業目的

- ① 動物死体処理事業
動物の死体の収集を民間事業者へ委託し、安定的な収集運搬を実施します。
- ② 集積場所関連事業
ネットボックス貸出や掲示物作成を行うことによって、利用者が行う集積場所の維持管理を支援します。
また、優良な集積場所を管理する方々へ感謝状贈呈等を行うことによって、取組の促進に繋がります。
- ③ ごみ収集運搬業務事業
ごみ収集業務に必要な物品購入や有料道路の利用により、効率的な収集運搬業務に繋がります。
- ④ ごみ出しが困難な方への支援事業
ごみを集積場所まで持ち出すことができないひとり暮らしの高齢者等の玄関先まで収集に伺い、ごみ出しを支援します。
また、いわゆるごみ屋敷条例に対応するための物品の購入等を行い、ごみ屋敷解消へ繋がります。
- ⑤ 労務特別対策事業
夏季・年末年始等の繁忙期に収集運搬を滞りなく行うため、会計年度任用職員を雇用し、安定的な収集運搬業務を行います。
- ⑥ ごみの出し方PR事業
ごみと資源物の分け方・出し方、年末年始の収集日程等の周知により、市民の分別意識の向上を促します。
- ⑦ その他事務費
ごみの収集、運搬及び処理に係る事務を適正に行います。

背景・課題 市民の皆様がごみのことで困らない住みよい街の実現に向けて、市民ニーズに対応したきめ細かなサービス等の実施が求められています。

根拠法令・方針決裁等

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例・規則
- ・横浜市一般廃棄物処理実施計画
- ・動物の愛護及び管理に関する法律
- ・横浜市建築物等における不良な生活環境の解消及び発生の防止を図るための支援及び措置に関する条例

根拠・データ等

- ・ごみと資源の総量
- ・収集件数
- ・動物の死体処理件数
- ・排出支援件数

事業スケジュール

- ①：昭和30年度 飼育分・遺棄分の動物死体処理の業者委託を開始
- 平成17年度 遺棄分の業務を直営事務所に移行
- 平成22年度 遺棄分の業務を再度委託化
- ②：平成22年度 集積場所改善対策事業を開始
- ④：平成28年度 ごみ屋敷対策事業を開始
- ⑥：平成7年度 ごみの出し方PR事業を開始

事業開始年度 昭和30年度

(単位：千円)

細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明

細事業(事業内訳)	1	動物死体処理事業	52,877	44,825	8,052	労務単価及び燃料費単価の上昇による増 業務履行に必要な時間の見直しによる増
	2	集積場所関連事業	7,155	2,792	4,363	プラスチック分別拡大普及啓発による増
	3	ごみ収集運搬業務事業	71,928	44,902	27,026	ETC利用料の実績に基づく増、ごみ集計システム改修による増
	4	ごみ出しが困難な方への支援事業	4,243	2,411	1,832	スマートフォンへの機種変更及び台数増による増
	5	労務特別対策事業	11,719	10,855	864	保険料率の変更による増
	6	ごみの出し方PR事業	1,013	1,013	0	
	7	その他事務費	969	1,009	▲40	既存物品の活用等による減
	細事業合計			149,904	107,807	42,097

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	澤田 亮仁	田中 まさみ	本田 由香里

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	業務課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	3					
歳出予算科目	一般会計	10	款	2	項	1	目	政策番号	19	施策番号	99
事業名称	家庭ごみ収集運搬業務委託事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	4,049,824	0	0	0	0	4,049,824
令和5年度	3,736,825	0	0	0	0	3,736,825
増▲減	312,999	0	0	0	0	312,999

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	3,583,750	3,631,565	4,049,824	4,049,824	4,049,824
	市債＋一般財源	3,583,750	3,631,565	4,049,824	4,049,824	4,049,824
決算	事業費	3,549,888	3,580,695			
	市債＋一般財源	3,549,888	3,580,695			

事業概要 (アクティビティ)	家庭から排出されたプラスチック資源及び缶・びん・ペットボトルの収集運搬業務を、民間事業者へ委託して実施します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
プラスチック、缶・びん・ペットボトル収集運搬業務委託状況	単位	目標	18	18	18	18	18	18
	区	実績	18	18				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
委託率	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100	100				
事業目的	本事業は、家庭ごみの収集運搬業務の効率化を図ることを目的としています。 市内全域の家庭から排出されたプラスチック資源及び缶・びん・ペットボトルの収集運搬業務を民間業者に委託し、安定的な収集運搬の実施に取り組みます。							
背景・課題	一般廃棄物の収集運搬は廃棄物の処理及び清掃に関する法律に定められた地方公共団体の責務であるため、引き続き実施する必要があります。							
根拠法令・方針決裁等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例・規則 横浜市一般廃棄物処理実施計画 							
根拠・データ等	ごみと資源の総量							
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 平成14年度：事業開始（西区一部地域での家庭ごみ収集運搬業務委託開始） 平成21年度：7区でのプラスチック製容器包装収集運搬業務委託の開始 平成22年度：西区での缶・びん・ペットボトル収集運搬業務委託の開始 平成25年度：全区でのプラスチック製容器包装と缶・びん・ペットボトルの収集運搬業務委託の開始 令和6年度中：プラスチック資源循環法の施行を受け、分別品目を拡大 							
事業開始年度	平成14年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	家庭ごみ収集運搬業務委託事業	4,049,824	3,736,825	312,999	プラスチック資源循環法の施行による分別品目の拡大や労務単価の改定等による増
細事業合計		4,049,824	3,736,825	312,999		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	山口 真介
	澤田 亮仁	熊倉 賢太郎	

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	施設課	新規拡充	□ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	4					
歳出予算科目	一般会計	10	款	2	項	1	目	政策番号	19	施策番号	99
事業名称	中継輸送業務委託事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	678,706	0	0	1,640	0	677,066
令和5年度	664,850	0	0	1,760	0	663,090
増▲減	13,856	0	0	▲120	0	13,976

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	646,892	647,850	678,706	678,706	678,706
	市債+一般財源	645,372	646,153	677,066	677,066	677,066
決算	事業費	644,555	641,092			
	市債+一般財源	642,795	639,452			

事業概要 (アクティビティ)	輸送事務所（神奈川輸送事務所、戸塚輸送事務所、神明台輸送事務所）及び休止中の保土ヶ谷工場の中継用プラントにおける家庭ごみ中継輸送業務について、より効率的・効果的な執行体制を確立するため、ごみの運搬及び施設管理を委託により実施します。										
-------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
輸送搬出量	単位	目標	236,259	235,363	235,363	220,486	220,486	220,486	220,486
	t	実績	233,910	226,486	/	/	/	/	/
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
法令に適合した輸送業務実施	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	—	実績	達成	達成	/	/	/	/	/

事業目的	ごみ収集作業を効率化するとともに、焼却工場において受け入れるごみ量を調整し施設の安定稼働に繋がります。										
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

背景・課題	市内の家庭ごみの収集において、収集地区と焼却工場との距離が遠い収集地区のごみ収集作業の効率化を目的としており、ごみの運搬を衛生的かつ安全に行う必要があります。										
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

根拠法令・方針決裁等	地方自治法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例										
------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

根拠・データ等	<p>【中継輸送実績】</p> <p><神奈川輸送> R2年度_57,527 t /R3年度_55,881 t /R4年度_54,170 t /R5年度_53,494 t (見込) /R6年度_52,670 t (見込)</p> <p><戸塚輸送> R2年度_40,731 t /R3年度_39,234 t /R4年度_38,427 t /R5年度_39,284 t (見込) /R6年度_37,527 t (見込)</p> <p><神明台輸送> R2年度_52,561 t /R3年度_50,386 t /R4年度_49,765 t /R5年度_49,966 t (見込) /R6年度_48,365 t (見込)</p> <p><保土ヶ谷輸送> R2年度_87,290 t /R3年度_88,409 t /R4年度_84,124 t /R5年度_91,619 t (見込) /R6年度_81,924 t (見込)</p>										
---------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業スケジュール	<p>【平成15年度】 戸塚輸送事務所管理運営業務委託開始、コンテナリース契約開始</p> <p>【平成16年度】 神奈川輸送事務所管理運営業務委託開始</p> <p>【平成17年度】 神明台輸送事務所管理運営業務委託開始</p> <p>【平成22年度】 保土ヶ谷輸送事務所燃やすごみ中継輸送業務委託開始、神奈川輸送事務所燃やすごみ中継輸送業務委託開始</p> <p>【平成23年度】 戸塚輸送事務所燃やすごみ中継輸送業務委託開始、神明台輸送事務所燃やすごみ中継輸送業務委託開始</p>										
事業開始年度	平成15年度										

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	中継輸送業務委託事業		678,706	664,850	13,856
	細事業合計		678,706	664,850	13,856	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 荒井 昌典	係長 大城 孝浩	岩田 倅乃
------------------------------------	-------------	-------------	-------

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	5	
歳出予算科目	一般会計	10 款	2 項	1 目	政策番号	19 施策番号	99
事業名称	輸送事務所補修費						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	54,366	0	0	0	0	54,366
令和5年度	60,406	0	0	0	0	60,406
増▲減	▲6,040	0	0	0	0	▲6,040

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	60,406	60,406	60,406	60,406	60,406
	市債＋一般財源	60,406	60,406	60,406	60,406	60,406
決算	事業費	61,178	71,031			
	市債＋一般財源	61,178	71,031			

事業概要 (アクティビティ)	各輸送事務所の経年劣化している機器の補修や消耗品の交換を行い機能維持を図ります。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
工事件数	単位	目標	3	3	3	3	3	3
	件	実績	3	3				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
施設の稼働状況	単位	目標	安定稼働	安定稼働	安定稼働	安定稼働	安定稼働	安定稼働
	—	実績	達成	達成				
事業目的	施設の安定稼働のため、各輸送事務所の経年劣化している機器の補修や消耗品の交換を行い機能維持を図ります。							
背景・課題	家庭系ごみの輸送の効率化と焼却工場の安定稼働を図るために市内3か所に設置された輸送事務所について、設備の定期的な補修や整備等を実施し、施設の機能維持及び円滑な運営管理を図ることを目的とします。どの施設も稼働開始から20年以上経過しているため老朽化が進んでおり、安定稼働のための補修が欠かせません。							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例							
根拠・データ等	【施設名】 神明台輸送事務所 【所在地】 泉区池の谷3949 【竣工年月】 平成3年8月 【処理能力】 500t/日 【中継方式】 コンパクト方式	【施設名】 戸塚輸送事務所 【所在地】 戸塚区名瀬町443-1 【竣工年月】 昭和62年12月 【処理能力】 200t/日 【中継方式】 コンパクト方式	【施設名】 神奈川輸送事務所 【所在地】 神奈川区新浦島町2-4-2 【竣工年月】 平成6年3月 【処理能力】 400t/日 【中継方式】 コンパクト方式					
事業スケジュール	【R3年度工事実績】 神明台輸送事務所ごみ積替施設補修工事、神奈川輸送事務所ごみ積替施設補修工事、戸塚輸送事務所ごみ積替施設補修工事 【R4年度工事実績】 神明台輸送事務所ごみ積替施設補修工事、神奈川輸送事務所ごみ積替施設補修工事、戸塚輸送事務所ごみ積替施設補修工事 【R5年度工事予定】 神明台輸送事務所ごみ積替施設補修工事、神奈川輸送事務所ごみ積替施設補修工事、戸塚輸送事務所ごみ積替施設補修工事 【R6年度工事予定】 神明台輸送事務所ごみ積替施設補修工事、神奈川輸送事務所ごみ積替施設補修工事、戸塚輸送事務所ごみ積替施設補修工事							
事業開始年度	昭和59年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
		1 輸送事務所補修費	54,366	60,406	▲6,040
細事業合計		54,366	60,406	▲6,040	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	荒井 昌典	大城 孝浩	岩田 倭乃

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	街の美化推進課			新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	6			
歳出予算科目	一般会計	10	款	2	項	1	目	政策番号	19	施策番号	99
事業名称	クリーンタウン横浜事業										

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	164,386	0	0	7,972	0	156,414
令和5年度	163,585	0	0	7,591	0	155,994
増▲減	801	0	0	381	0	420

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	176,025	157,799	164,386	164,386	164,386
	市債＋一般財源	162,437	147,443	156,414	156,414	156,414
決算	事業費	154,543	153,147			
	市債＋一般財源	148,928	149,748			

事業概要 (アクティビティ)	「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」に基づき、美化対策及び路上喫煙対策を実施し、清潔で安全なまちづくりを推進します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
歩道・駅前広場清掃回数	単位	目標	605	581	501	501	501	501
	回	実績	605	581				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
清掃等による美化の推進	単位	目標	—	—	—	実施	実施	実施
	—	実績	—	—				
事業目的	<p>駅周辺や繁華街等において美化対策や路上喫煙対策を実施し、空き缶や吸い殻等の散乱や河川への流出を防止するとともに、たばこの火によるやけど等の危険を防止し、清潔で安全なまちの実現に繋がります。</p> <p>【実施内容と期待される効果】</p> <p>① クリーンアップ事業 都心部美化推進重点地区の歩道・駅前広場清掃や喫煙禁止地区の喫煙所管理を行い、まちの美化推進に繋がります。</p> <p>② 喫煙禁止地区及び歩行喫煙防止対策事業 喫煙禁止地区における巡回や違反者対応、歩きタバコ防止パトロールの実施により喫煙マナーの向上に繋がります。</p> <p>③ 条例に係る各種広報事業 喫煙禁止地区における看板・路面標示の設置、広報物の作成や美化活動の支援により、条例等の周知に繋がります。</p> <p>④ 事業運営費 当事業に係る円滑な事務運営に繋がります。</p>							
背景・課題	<p>条例や喫煙禁止地区指定の趣旨について、広報物や歩きタバコ防止パトロール、駅頭でのキャンペーン等を通じた継続的な周知を行う必要があり、より効果的な広報となるよう、各区の地域振興課や収集事務所、民間事業者等とも情報共有・連携をとる等の工夫をします。喫煙禁止地区内に市が設置している喫煙所については、社会情勢や地域の状況等を鑑み、適切な開設、維持管理に努めます。</p>							
根拠法令・方針決裁等	横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 美化推進重点地区の指定【計28地区】 H8年度21地区、H18年度4地区追加、H28年度1地区追加、H30年度1地区追加、R3年度1地区追加 喫煙禁止地区の指定【計8地区】 H19年度3地区、H20年度2地区追加、H21年度1地区追加、H29年度1地区追加、H30年度1地区追加 令和2年度横浜市民意識調査における「ごみの不法投棄や街の美化」に関する要望と満足度 全43項目中「市政への満足度と要望の差（要望のほうが多い10項目）」第8位（満足度6.2%に対して要望21.4%） 							
事業スケジュール	<p>平成8年：「横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止等に関する条例」（以下「条例」という。）制定。市内主要駅周辺を美化推進重点地区に指定。地区内を中心に歩道清掃や啓発等の美化対策および歩きタバコ防止の取組む事業を開始。</p> <p>平成8年～令和4年：美化推進重点地区として計28地区を指定（都心部：6地区、その他各区主要駅周辺：22地区）</p> <p>平成19年：条例改正。たばこの火によるやけどや焼け焦げを防止するため、美化推進重点地域のうち特に人通りの多い駅周辺を喫煙禁止地区に指定。地区内で職員が巡回し違反者への注意指導を実施（違反者は罰則（過料2,000円）対象）。</p> <p>平成19年～30年：喫煙禁止地区として計8地区を指定。指定に伴い各地区内に屋外喫煙所を整備。</p> <p>令和2年：美化推進重点地区・喫煙禁止地区の一部拡大（みなとみらい21地区）</p> <p>令和3年～：各指定地区を中心にまちの美化やポイ捨て・歩きタバコ防止の取組を推進。取組の効果を高めるため各区役所や関係部署、企業等との連携を一層進めていく。</p> <p>令和5年：喫煙禁止地区の一部拡大（横浜駅周辺地区）</p>							
事業開始年度	平成8年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
		1	クリーンアップ事業	57,197	57,315
2	喫煙禁止地区及び歩行喫煙防止対策事業	98,113	92,979	5,134	喫煙禁止地区拡大に伴う雇用人数追加による増
3	条例に係る各種広報事業	8,724	12,896	▲4,172	委託内容の見直しによる金額の減

細事業(事業内訳)	4	事業運営費	352	395	▲43	実績に伴う減
	細事業合計		164,386	163,585	801	

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	中村 春生
	藤塚 貴代	中村 英樹	

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	街の美化推進課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	7
歳出予算科目	一般会計	10 款	2 項	1 目	政策番号	19 施策番号 99
事業名称	不法投棄等対策事業					

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	7,718	0	0	0	0	7,718
令和5年度	7,781	0	0	1,569	0	6,212
増▲減	▲63	0	0	▲1,569	0	1,506

歳出		令和3年度	令和4年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
予算	事業費	8,239	7,123	7,718	7,718	7,718
	市債+一般財源	6,180	5,626	7,718	7,718	7,718
決算	事業費	13,571	12,187			
	市債+一般財源	11,646	10,258			

事業概要 (アクティビティ)	不法投棄された廃棄物の早期撤去を行うほか、不法投棄の防止を図ります。 また、「横浜市放置自動車及び沈船等の発生の防止及び適正な処理に関する条例」に基づき、放置自動車を撤去、処分します。							
事業指標① (アウトプット)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
不法投棄家電4品目 回収数	単位	目標	1,304	1,120	1,265	1,119	1,119	1,119
	台	実績	1,214	1,086				
事業指標② (アウトカム)	年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
不法投棄家電の回収 による街の美化の推 進	単位	目標	-	-	-	実施	実施	実施
	-	実績	-	-				
事業目的	不法投棄の発生を防ぐため、不法投棄防止策を講じるとともに、早期に不法投棄物及び放置自動車の撤去・処分を進め、地域的美観を保持し、良好な都市環境の形成及び市民の快適な生活環境を維持します。							
背景・課題	不法投棄量及び放置自動車の発生件数はピーク時に比べ、減少傾向にありますが、依然としてまち中に存在しています。							
根拠法令・方針決裁等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、特定家庭用機器再商品化法、資源の有効な利用の促進に関する法律、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律、横浜市放置自動車及び沈船等の発生の防止及び適正な処理に関する条例							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄家電4品目の回収実績 (実績) 令和3年度：1,214台、令和4年度：1,086台、令和5年度：1,265台(見込)、令和6年度：1,119台(見込) 不法投棄回収実績 (実績) 令和3年度：約1,249t、令和4年度：約1,247t、令和5年度：約1,200t(見込)、令和6年度：約1,200t(見込) 放置自動車処理等実績 (実績) 令和3年度：36台、令和4年度：45台、令和5年度：50台(見込)、令和6年度：50台(見込) 							
事業スケジュール	平成3年：横浜市放置自動車及び沈船等の発生の防止及び適正な処理に関する条例施行 令和5年：横浜市放置自動車及び沈船等廃物判定委員会委員の委嘱改選							
事業開始年度	昭和48年度							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	不法投棄防止事業	381	415	▲34	実績に伴う単価の減
2	不法投棄物適正処理事業	6,445	6,430	15	家電4品目運搬等単価・想定数の増	
3	放置自動車対策事業	892	936	▲44	放置車両撤去・処分、一時移動の想定数減	
細事業合計		7,718	7,781	▲63		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長	係長	
	藤塚 貴代	鈴木 滉平	尾崎 大輔

令和6年度 事業計画書

事業局課	資源循環局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	8	
歳出予算科目	一般会計	10 款	2 項	1 目	政策番号	99 施策番号	99
事業名称	共同溝管理事業						

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				
		国	県	その他	市債	一般財源
令和6年度	9,445	0	0	594	0	8,851
令和5年度	13,963	0	0	518	0	13,445
増▲減	▲4,518	0	0	76	0	▲4,594

歳出		令和3年度	令和4年度
予算	事業費	17,115	14,672
	市債＋一般財源	16,616	14,173
決算	事業費	8,372	8,003
	市債＋一般財源	7,854	7,410

令和7年度	令和8年度	令和9年度
13,493	13,493	13,493
12,899	12,899	12,899

事業概要 (アクティビティ)	共同溝内の管路について、共同溝特措法に基づく共同溝占有者としての権利義務に基づき共同溝の維持管理に関する経費を執行します。また、道路に埋設されている管路について適切に維持管理を行うとともに、共同溝内の管路の撤去に向けた現況調査を進めます。							
-------------------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業指標① (アウトプット)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
適切な経費執行	単位	目標	—	—	実施	実施	実施	実施	実施
	—	実績	—	—					
事業指標② (アウトカム)		年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
共同溝の安定した維持管理	単位	目標	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施
	—	実績	達成	達成					

事業目的	共同溝特措法に基づく共同溝占有者としての権利義務に基づき共同溝の維持管理に関する経費を執行します。また、道路に埋設されている管路について適切に維持管理を行うとともに、共同溝内の管路の撤去に向けた現況調査を進めます。
------	---

背景・課題	ごみの衛生的、効率的な収集と排出の利便性及び地域環境の美化向上を図ることを目的として、みなとみらい21地区において実施していた廃棄物集じん管路によるごみ収集について分別収集の推進等の理由により事業は平成29年度で廃止されましたが、共同溝特措法に基づく共同溝占有者としての権利義務が残るため、引き続き共同溝の維持管理に関する経費を負担します。また、共同溝内に残置された管路の撤去について検討していきます。
-------	---

根拠法令・方針決裁等	共同溝の整備等に関する特別措置法
------------	------------------

根拠・データ等	【収集実績】 H25年度862t(17施設)/H26年度802t(17施設)/H27年度829t(17施設)/H28年度672t(16施設)/H29年度343t(16施設)
---------	--

事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 【令和3年度】共同溝維持管理委託、共同溝集じん管現況調査委託、共同溝地上部排水施設調査委託 【令和4年度】共同溝維持管理委託、共同溝補修工事、共同溝集じん管現況調査委託 【令和5年度見込】共同溝維持管理委託、共同溝補修工事、共同溝集じん管現況調査委託 【令和6年度見込】共同溝維持管理委託、共同溝補修工事、共同溝集じん管現況調査委託 【令和7年度見込】共同溝維持管理委託、共同溝補修工事、共同溝集じん管現況調査委託
----------	---

事業開始年度	昭和59年度
--------	--------

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称		6年度	5年度	差引(増減)	増減説明
	1	共同溝管理事業	9,445	13,963	▲4,518	委託範囲の減
細事業合計		9,445	13,963	▲4,518		

本資料は、評価やデータなどを踏まえ検討し、公正・適正に作成しました。	課長 荒井 昌典	係長 大城 孝浩	岩田 倅乃
------------------------------------	-------------	-------------	-------